

令和2年度 施策評価シート

■第5次粕屋町総合計画の体系

まちづくりの目標 (施策の大綱)	基本目標1 つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち			
	2 地域でともに助け合う安全なまちづくり			
施策名	(2) 事故や犯罪が起これにくい地域社会の実現			
施策コード	1-2-2	施策構成	3 事務事業	決算額 42,972 (千円)

■目標／指標の達成度

基本計画に掲げる目標／指標			単位
①	実感指標	事故や犯罪が少なく安全な町だと思える町民の割合	%
②	客観指標	交通事故発生件数(協働のまちづくり課)	件/年
③	客観指標	犯罪発生件数(協働のまちづくり課)	件/年
④			

アウトカム／成果目標の進行管理										
	当初値	28年度末	29年度末	30年度末	元年度末	2年度末	目標値	達成度	変更目標値	変更年度
①	40.2	48.9	44.5	48.3	43.3	—	↗	—		
②	494	481	478	414	380	345	0~450	—		
③	871	692	559	525	490	379	0~700	—		
④										

■施策における総括

前年度までの課題	住民が事件や事故の被害に遭うことがないよう、関係機関との連携の更なる強化と、町全体での取組を推進し発生件数を抑制する。 また、複雑・多様化する消費者被害の防止や被害拡大防止のため、今後も継続して啓発活動を行う。
今年度の取り組み(成果、効果)	新たな見守りシステムの整備を行うとともに、広報やHPなど様々な手段を活用し、事件・事故の被害防止のための周知活動を行った結果、事故発生件数や犯罪発生件数が昨年度より減少した。
次年度以降に改善すべき課題	交通事故の件数は減っているが、事故による死者数は増加し、飲酒運転も発生しているため、それらの問題への対策が必要である。また、犯罪防止のため、防犯灯の増設・LED化を促進し、消費者問題に関しては、身近な相談窓口の周知を行う必要がある。

■総合計画の進行管理

(1) 施策実現への取り組み		(2) 施策実現への進捗状況	
	①着実に取り組まれており評価できる。		①計画以上に進んでいる。
○	②取り組まれているが、まだ改善の余地がある。	○	②計画どおり順調に進んでいる。
	③取り組みが不十分であり対策が必要である。		③進んではいるが、スピードが遅い。
	④取り組みがなされていない。		④進捗が見られない、または後退している。